

社会の変化と未来へ続く私達

岐阜市立岐北中学校 3年

箕浦 愛香(みのうら まなか)

色んな人と、身近な人と、友達と、家族と、前みたいにたくさん関わりたい。そう思ったのは、中学生になって間もないときのことでした。現在の日本社会には人工知能が多く普及してきています。なぜそんなにも人工知能の普及が進んでいるのでしょうか。それは、人々の負担が人工知能の普及によって軽減され、仕事やお店など様々な場面での効率化が求められているからだと考えます。例えば仕事での資料作成や、データ管理などが正確に速く出来る。他にも飲食店でのタブレット注文。自分の好きなときに気軽に注文出来たり、店員の方を呼ぶ手間が省けたりするなど、注文するまでの待ち時間が減り、誰でも気軽に注文ができるようになりました。耳の不自由な方や、対人での会話が苦手な方でも、誰でも気軽に注文が出来るようになりました。耳の不自由な祖母と訪れたときもタブレット注文により、スムーズに注文が出来ました。ですが、人工知能の普及は私達にとって本当に日本社会をよりよくするものなのでしょうか。私がそう感じたことをこれから3つお話しします。

1つ目はタブレット注文についてです。誰でも気軽にスムーズに注文が行えますが、それによって人との関わりがどうしても減ってしまいます。関わりが減ってしまうことにより、店員の方の明るい接客によって生まれる温かな雰囲気があまり感じられません。商品を運ぶのも人工知能が行うなど、会話する機会が減っていっています。

2つ目は、スマートフォンの普及です。スマートフォンの普及により、連絡や調べもの、ネット通販などが気軽に利用できるようになりましたが、電車やバスなどの公共交通機関を利用したときある欠点を感じたのです。電車に乗車したときあたりを見渡してみると、ほとんどの人がうつむきスマホをのぞいているのです。それに妙な空気と寂しさを感じました。席をゆずろうと話しかけようとしても、相手がずっとスマホを見ているため、なかなか踏み出すことができませんでした。会話もメールによる文面での会話が増え、声で自分の思いや情報などを伝える会話が減りました。声と声で会話することが変に目立ってしまう、何か居心地の悪さを感じるようになってしまいました。

3つ目は、人工知能の普及による職業の減少です。今存在する職業のうち49%の職業が人工知能の普及によりなくなってしまうといわれています。私の目指しているホテルマンもその1つでした。以前はアニメーターになりたいと思っていました。ですが、長期休みに訪れたホテルでの出来事が、私の夢を大きく左右しました。華やかさがあふれ出るような笑顔で非常に丁寧な対応をしている受付、普段では感じることができないような、特別な対応に大きな感動を受けました。この感動をもっといろんな人に感じてもらいたい、私自身が届けたいと思い、強い憧れをもちました。そんな自分に父が背中を後押ししてくれるようないい一言を投げかけてくれたのです。「人と関わるのが好きなら目指してみてもいいんじゃない?それにホテルマンは毎日毎日違う人と関わる。性別、年齢、国籍、幅広いお客様がたくさん来る。だからこそ達成感をより感じられるし、楽しいと思う。人のために行動するのも好きそうだし。僕は向いてると思うな。」

と。それを目指すようになってからは、言葉遣いや礼儀、マナーなどを手話などを覚えたりしてきました。それゆえに私の背中を押してくれた父の言葉ホテルマンへの強い憧れ、夢を実現させるために積み上げてきた努力、何としてもホテルマンになりたい、と気持ちは高まるばかりです。なのに私達の夢が人工知能によって奪われてしまうかもしれません。

このように、人工知能の普及により仕事の効率化が大きく進みました。その反面、将来の夢が奪われたり、人と関わる機会が失われたりする可能性があります。しかし、私はみなさんに、自分の夢を叶えてほしい。人工知能が私たちの未来をさまたげるものではなく、みんなさんの夢を叶えるものであってほしい。だから今後、人工知能であふれかえる社会の中で、どう人工知能と付き合っていくのかを考え、みなさんと私たちの夢が叶う未来にしていきましょう。